



地域を知り、地元への愛を深める「夢みる」

川根高校では、「川根愛を育み、自らの未来を拓く」人材の育成を目標に、川根の郷の「夢」プロジェクト（通称、夢ぶろ）に取り組んでいます。

「地生学」として学校指定教科となっているこの学習では、地域について学ぶことを目的とした授業を行っています。川根の名産であるお茶についての実習や調査、エコパークツアー体験などをとおし、地域の魅力をどのように発信していくかを考えるといったことが主な内容になります。

これまでの学習の中で、川根地域の「芸能・文化」「福祉の現状とこれからの「スポーツビジネス」」「緑地化と貢献活動」などの視点から、地域活性化を探究しています。



現在、静岡県内では少子化に伴う生徒数の減少から、2028年をめぐりに県立高校の統廃合が進められています。志太榛原地域の高校では、金谷高校が2024年に単位制の定時制高校へと変更され、藤枝東高校と島田商業高校の定時制課程と統合される予定となっています。

そのような状況のなか、川根高校では存続にむけて「特色のある高校」「選ばれる高校」になるための取り組みを進めています。

たとえば、少人数授業を生かし、生徒一人ひとりの進路実現のために教員がきめ細やかな指導にあたる「チューター制度」を導入するなど、小規模校として特色ある教育を推進しています。

また、大規模校では経費の面で対応が難しい、最新のICT教育に取り組み、電子黒板やタブレット端末、遠隔授業システムなど充実した学習環境を整備しています。

校訓である「自省」「創造」「果敢」の精神に則り、生徒一人ひとりの確かな学力、豊かな感性、健やかな心身を育てるとともに、川根愛を育み、地域の未来を創造することができると、たくましい人材の育成を目指しています。

川根高等学校 その魅力化への取り組みと現状 ～選ばれる高校に～



学びの地域間格差をなくす公営塾の運営

川根本町公営塾は、町内の中高生と川根高校生徒の基礎学力と進学率の向上、多くの町内外の中学生に進学先として川根高校を選択してもらうことを目的として、平成30年5月に若者交流センター奥流を拠点として開校しました。

都市部にある学習塾と遜色ない環境の中で、経験豊富な講師による丁寧な個別指導、タブレットによる映像授業などを行っています。

また、自習室も用意されており、テスト対策や予習・復習など「自学自習力」を向上させ、学習に集中できる環境と設備を用意しています。

入校前のカウンセリングをとおし、生徒一人ひとりの授業カリキュラムを作成することにより、進路実現へ向けたきめ細かな指導を行います。希望者には英語検定や小論文などへの対策も指導しています。

また、学校が長期休みになる期間には中学1年生、2年生を対象にした体験講習会も実施しています。



利用者からの声

- 島田市や藤枝市の大手の進学塾に行くとなると時間的にも経費的にも保護者への負担が大きい。町内に塾があることで助かっている。
- 他の塾生から刺激を受ける場となり、子どもの学習意欲が向上している。
- 塾から出る時に登録してある保護者あてにお知らせが来るようになっている。距離も近いので迎いの予定が立てやすく助かっている。
- 家での勉強は様々な「誘惑」に負けてしまうことが多いが、塾なら集中して学習に取り組める。
- 講師の先生が丁寧に教えてくれる。苦手な教科だけでなく、得意な教科を伸ばすことができるのが良いと思う。



●中川根中学校で保護者も交えて行われた進路説明会。



●「特色を活かした学びができる」高校を選ぶという意識は確実に高まっています。

全国から川根へ、留学生への取り組み

本年度の川根高校の生徒数は139人。年々減少する生徒数に学校存続への危機感を持ち、学区をこえて生徒を募集する「川根留学生制度」を5年前に立ち上げました。

開始当初の留学生は2人でしたが、制度が少しずつ周知されてきたことや山村留学の機運が高まってきたことにより年々増加、現在は68人となり、全校生徒のほぼ半数を占めるようになりました。

平成30年度には県内の公立高校として初となる全国公募を開始、今年度は東京都や神奈川県から6人が入学しました。

現在、川根留学生は地元川根地域の生徒たちとの交流をとおしてお互いに高めあいがながら勉強や部活動に積極的に取り組んでいます。

また、川根高校では、地元の中学

生や保護者に地域の高校ならでは様々な取り組みを紹介し、学校の魅力を知っていただくことを目的とした進路説明会や座談会を企画しています。座談会は、在校生自らが学校生活の様子を紹介するほか、高校生生活への不安や心配ごとなど中学生の相談に応える場になっています。

留学生に対しては、ホームページでの紹介の他、一日体験入学やオープンスクールの他、静岡市や浜松市での説明会を開催しています。

6月には、全国公募を行っている高校が一堂に会する「地域の未来フェスタ」が東京と名古屋で開催され、川根高校も参加しました。

東京会場にはおよそ650組の来場があり、川根高校のブースにも多くの中学生が訪れていました。